

# けいじばん 7月の掲示板より

# あさがお あま がわ 「朝顔と天の川」

あさはや ひら 朝早く開いて昼過ぎにはしぼんでしまう朝顔ですが、 たなばた あま がわ よこ よそら あらわ  
 「朝顔」に名前が似ている花に、「昼顔」「夕顔」「夜顔」があります。咲く時間帯が違うことで名前も違いますが、性質や、  
 花や葉の形や色なども違います。また、夕顔だけウリ科の植物で、その他は、ヒルガオ科の植物です。食べ物の「かん  
 ぴょう」は、夕顔が原料です。それぞれの違いを詳しく調べてみるのも楽しいですね。



あさがおの花  
朝顔の花



あさがお つぼみ  
朝顔の蕾



あまがわ しずく  
笹に雫

※和菓子は、季節を取り入れたものが多いです。左から朝顔の花、真ん中ではつぼみ、右は七夕にちなんで笹の葉に雫がのっている様子をイメージしています。夏にはほかにどんな和菓子があるか、見つけてみましょう。



## 1年生の朝顔の花が咲きました

1年生が生活科で栽培している朝顔です。休校中におうちで種をまいた朝顔が、ぐんぐん「つる」を伸ばして葉をしげらせ、ねじを巻いたような「つぼみ」をつけて、いっせいに花を咲かせています。さて、「つる」と「つぼみ」は、ちがう向きに巻いています。3・6年生の昇降口近くにあるので確かめてみましょう。

### ※「釣瓶（つるべ）」とは

水を井戸からくみ上げるための綱がついている桶のこと。  
 ここでは、滑車を使って釣瓶で水を引き上げる装置に、朝顔の蔓が巻きついていくようです。

【意味】朝早く井戸に水をくみに行ったら、朝顔の蔓が、井戸の釣瓶に巻き付いていた。これを引きちぎって釣瓶を使うのはかわいそうなので、お隣に水をもらいに行った。  
 ↓季語は「朝顔」で秋の季語です。

【朝顔の俳句】  
 朝顔に つるべ取られて もらひ水  
 加賀野千代女



しんじゆくもんよこ けいじばん  
 新宿門横の掲示板にあります。